

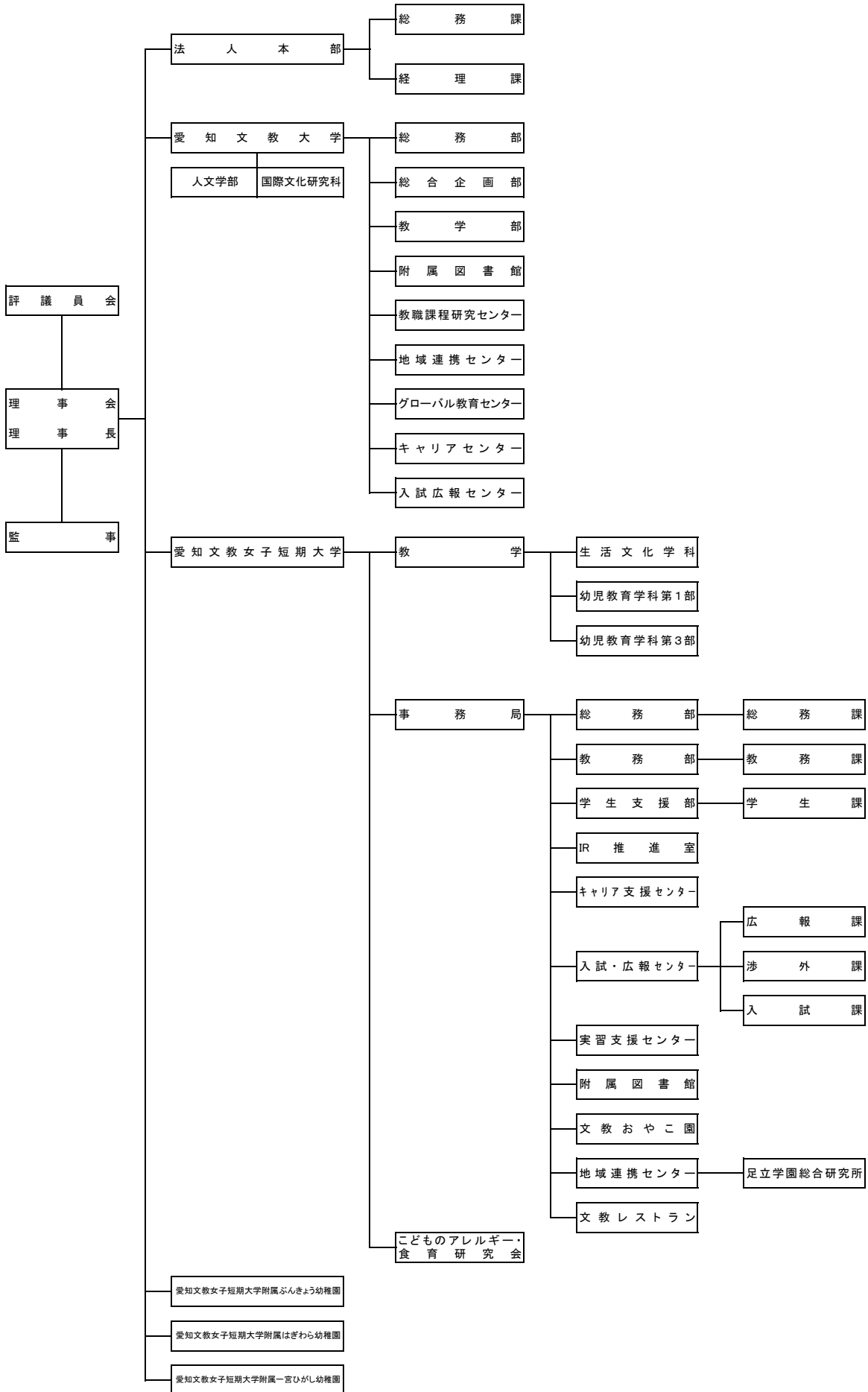
令和5年度

事業計画書

学校法人 足立学園



(3)学校法人足立学園組織図（令和5年5月1日現在）



## (4) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2023年3月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	470	59	75	119	113	366
	大学院修士課程	16	1	5			6
	小計	486	60	80	119	113	372
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	57	57			114
	幼児教育学科第1部	160	30	66			96
	幼児教育学科第3部	210	56	72	86		214
	小計	510	143	195	86		424
学校名		収容定員	3歳児 (満3歳含む)	4歳児	5歳児		計
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		360	98	90	92		280
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		270	83	64	68		215
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		207	81	63	49		193
計		1,833	465	492	414	113	1,484

## 2. 事業の概要

### (1) 令和5年度 愛知文教大学事業計画書

#### 1. 教育研究活動

##### (1) 今年度は愛知文教大学中長期計画のサードプロセス2年目

2020年1月中旬から始まった日本におけるコロナ禍も4年目に入る。令和5年度も対面授業中心で実施するが、本学がクラスターになったと判断したときは直ぐにオンライン授業に切り替える。この為にZOOMソフトを専任教職員、非常勤教員の分を令和5年度も継続する。令和5年6月更新予定。

##### (2) サードプロセスのキーワード「ことば」

愛知文教大学は教養科目の学修キーワードを「ことば」として展開しています。すなわち、「ことば」を大学教育の根幹をなすものと位置づけ、意思伝達の道具としての言葉を、社会や文化との関わりから問い直す研究を進めています。4年間を通して「ことば」と社会との関係を体系的に学び、成熟した社会の一大要素として「ことば」を捉えることのできるグローバル人材の育成を目指しています。

##### (3) 学部、大学院の全授業公開

FD(ファカルティデベロップメント)活動の一つとして実施する。また、公開授業を通して全学的SD(スタッフデベロップメント[教職員研修])を開催する。

##### (4) 科研費の取得と研究の充実

研究費は基本年5万円/人とし、昨年度(令和4年度)の研究業績により、さらに5万円の追加とする。年間10万円を最高とし、令和5年4月に発表する。

##### (5) 愛知文教大学の稲沢校舎(短大)での授業開始も計画する。

#### 2. 交換留学生・編入生・海外提携大学科目等履修生

コロナ禍で交換留学が不安定である。

##### (1) 交換留学協定のある大学は北京外語大学等4大学あるが、令和5年秋期までは凍結することとなった。

##### (2) 中国からは困難を乗り越えて渡日した学生が15名いる。令和5年度も15名ほどを受け入れる予定である。

#### 3. 学び合う学び研究所の役割

小中高の教員対象講習会を毎年充実させていく。これにより、中学、高校へ教員ストレート合格者を増やす計画である。また、通信教育による小学校課程免許取得を計画する。

#### 4. 地域・社会活動

##### (1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員の参加

##### (2) 小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧市文化財地図作成等を実施していく。

- (3) 小牧市学習チューター制度等への協力においては、小中学校の学習支援を行う。
- (4) 小牧市国際交流協会の事業への協力 「国際こども教室」、「ワールドレストラン」「スポーツ交流会」「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加する。小牧市協働推進課とNPO法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」に参加する。
- (5) 小牧市、犬山市、春日井市、羽島市との協賛事業を充実させる。
- (6) 愛知文教大学サテライトカレッジは地域貢献事業として独立させる。今後は協賛の形で協力する。

## 5. 高大連携事業

愛知啓成、大成、津島北、犬山南高等学校他 11 校と提携し、提携校奨学金制度の充実を目指す。

## 6. 大学入学共通テスト制度

大学入試センターの新試験制度実施と大成高等学校（又は愛知文教大学）での大学入学共通テスト試験続行、令和 4 年度より短期大学も参加した。

## 7. アジア語学研修の実施（フィリピン英語研修、台湾中国語研修）

- (1) フィリピンセブ島：IDEA CEBU、台湾：台湾師範大学国語教学センター 2 週間(期間検討中)の語学学修の実施準備をする。3 年生が対象となるが令和 5 年度も秋期に実施する。(令和 4 年度は 11 月に 2 週間実施し、30 名の学生が参加した)
- (2) 本来は 1 年生で実施する計画であるが、3 年間実施出来なかった。フィリピン、台湾以外にシンガポールと韓国での大学交流事業（SDGs 交流会）も計画している。

## 8. 施設設備充実計画

5 年計画で全教室のプロジェクター、WiFi、エアコン入替を進めている。また、教室の LED 化も一昨年度よりスタートした。

以 上

## (2) 令和5年度 愛知文教女子短期大学事業計画書

1. 愛知文教女子短期大学 70 周年記念募金は本年度（2023 年度）で 3 年間の募金活動期間が終了する。

- (1) 令和 5 年度末まで寄付金の募集を行う。（企業、地域、同窓生等）
- (2) ふるさと納税形式、返礼品に「防災パン」を送る。

### 2. 施設・設備改修計画

- (1) 令和 5 年度に 1 号館、3 号館のエレベータ取り替え工事を実施する。
- (2) 第 2 学生寮の修理・整備、事務局の整備（事務局を学生対応の中心とする）  
学生指導を学生支援委員会と事務局学生課で実施する。
- (3) 学食の「文教レストラン」構想、「文教子どもレストラン」として子ども食堂にも協力する。

### 3. 食物アレルギー認定団体設立

- (1) 「日本医療福祉実務教育協会」にて「こども食物アレルギー実務課程」、「こども食物アレルギー実務技能検定」を設立実施する。令和 4 年度プレテスト実施済み。
- (2) 「こどものアレルギー・食育研究会」提案、防災バッグの販売と企業連携を進める。  
ブランディング事業の最終予算で実施する。

### 4. 文教おやこ園

稲沢市の委託事業（2020 年 4 月から稲沢市役所委託事業として補助金運営、2023 年度も適用）、現在毎週 月、水、金の 9:30～15:00 を週 5 日として申請中。

### 5. 地域連携センター（足立学園総合研究所）の活動支援

- (1) 地域連携ボランティア活動 学生の派遣をキャリアプラスとして単位認定  
稲沢イルミネーション・消費生活展・稲沢まつり（夏まつり・サンドフェスタ・祖父江いちょう祭り 他）
- (2) 生涯学習講座 （委託事業化）
  - ①AFA 染色講座、茶道講座他
  - ②コミュニティーカレッジ（市民が教える講座） 朗読講座、ヨガ講座他
- (3) 地域連携事業（包括連携対応） 6 事業
  - ①プラントベースの商品開発プロジェクト  
連携先 株式会社名古屋食糧・株式会社おとうふ工房いしかわ・太田油脂株式会社  
プラントベースアイスの製造、販売（継続事業）
  - ②豊田合成記念体育館（エントリオ）ロビーでのピアノコンサート  
連携先 豊田合成・TG スポーツ  
年 2 回の開催予定（継続事業）
  - ③着物が似合う街企画

連携先 稲沢観光協会

年1回の開催予定 桜の季節に合わせて、国府宮神社と地元商店街活性化企画（継続事業）

④サマーカレッジ2023

連携先 稲沢市・清須市

8月上旬 夏休み親子対象企画（継続事業）

会場：短期大学・清須市春日公民館 内容：SDGs 関連体験講座

⑤食物アレルギー関連商品の開発、普及（継続事業）

連携先 社会福祉法人昭徳会（授産所高浜安立） 株式会社名古屋食糧

内容：「ぱりまる」「卵なし防災パン缶詰」の普及（販売） 新商品の開発

⑥稲沢市荻須記念美術館連携事業

連携先 稲沢市

特別展での連携事業及び周辺マップ作製（継続事業）(1) Adachi fashion academy 規模縮小

6. 学科特色による地域貢献事業

- (1) 文教子どもフェスタの開催
- (2) みんないっしょのクリスマスの開催
- (3) 食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」の開催
- (4) おいしい笑顔!野菜レシピコンテストの開催
- (5) 職業実践力育成プログラム(BP)による社会人教育
- (6) 高齢者福祉施設における年間行事に参加
- (7) 地域産業との協働プログラムの推進

7. 令和5年度の特徴

- (1) 生活文化専攻のコース名変更：情報デザインコース、総合ビジネスコース  
社会で認知されている国家資格取得（IT パスポート、FP 等）と、企業・自治体との  
コラボレーションでインターンシップを行う。
- (2) 「食育」の実践の場として学食を利用する。「文教レストラン」として開設  
食物栄養専攻の教員考案レシピで、美味しく健康に良い食事を学生に提供する
- (3) 海外研修の充実  
本学の学び「韓国語」の集大成として韓国での海外研修を導入する

以上



### 3. 財務の概要

#### (1) 資金収支予算書 (令和5年度)

(単位:千円)

科 目		予算額	前年度予算額
収入の部	学生生徒等納付金収入	766,101	973,702
	手数料収入	12,085	13,045
	寄付金収入	22,603	12,707
	補助金収入	277,918	307,571
	資産売却収入	0	504,845
	付随事業・収益事業収入	88,845	95,896
	受取利息・配当金収入	15,806	15,406
	雑収入	69,413	91,513
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	298,818	299,156
	その他の収入	541,928	966,610
	資金収入調整勘定	△ 301,731	△ 377,222
	前年度繰越支払資金	805,508	1,001,514
	合 計	2,597,294	3,904,743
支出の部	人件費支出	829,899	897,282
	教育研究経費支出	311,479	368,096
	管理経費支出	287,428	315,339
	借入金等利息支出	6	9
	借入金等返済支出	0	0
	施設関係支出	57,930	52,690
	設備関係支出	19,974	62,662
	資産運用支出	50,000	550,000
	その他の支出	529,442	970,823
	予備費	5,000	5,000
	資金支出調整勘定	△ 27,484	△ 114,093
	翌年度繰越支払資金	533,620	796,935
	合 計	2,597,294	3,904,743

### 3. 財務の概要

#### (2) 事業活動収支予算書

(令和5年度)

(単位:千円)

科目		予算額	前年度予算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	766,101	973,702
		手数料	12,085	12,295
		寄付金	10,453	12,218
		経常費等補助金	277,918	307,571
		国庫補助金	166,655	177,300
		地方公共団体補助金	111,263	130,271
		付随事業収入	88,845	95,896
		雑収入	69,413	90,763
		教育活動収入計	1,224,815	1,492,445
	事業活動支出の部	人件費	809,509	905,576
教育研究経費		475,833	530,716	
管理経費		312,817	343,116	
徴収不能額等		0	0	
教育活動支出計		1,598,159	1,779,408	
教育活動収支差額		△ 373,344	△ 286,963	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,806	15,406
		その他の教育活動外収入	0	0
		教育活動外収入計	15,806	15,406
	事業活動支出の部	借入金等利息	6	9
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出計	6	9
教育活動外収支差額		15,800	15,397	
経常収支差額		△ 357,544	△ 271,566	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	12,150	814
		特別収入計	12,150	814
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	21,057
		その他の特別支出	0	470
		特別支出計	0	21,527
特別収支差額		12,150	△ 20,713	
予備費		5,000	5,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 350,394	△ 297,279	
基本金組入額合計		102,333	△ 83,697	
当年度収支差額		△ 248,061	△ 380,976	

(参考)

事業活動収入計	1,252,771	1,508,665
事業活動支出計	1,603,165	1,805,944